

認知症委員会

▶ 2017.5月

1. 新委員会体制について

今期は以下14名（辞退2名、新任2名）で運営することとなった。

小田原俊成（委員長）、池尻義隆、鶴飼克行、下田健吾、高橋晶、竹内文一、西田圭一郎、橋本学、長谷川朝穂、藤原修一郎、古田光、宮本光一郎、吉田常孝、吉村匡史

2. 第30回総会委員会企画研修会について

認知症診療連携研修会において、本年3月の改正道路交通法施行後の認知症高齢者の運転免許証に関する問題と対応について取り上げる予定である。

横浜市立大学保健管理センター 小田原 俊成

▶ 2016.12月

第29回総会において、ワークショップ「認知症診療における多職種連携の実践」を開催した。20名の参加者があり、終了後アンケートの結果は大変好評であった。今後取り上げてほしい課題として、転院調整や同意能力の評価、非薬物的対応、掘り下げた事例検討など多くの貴重な意見が寄せられた。

現在、委員会ではGHP会員向けに「認知症診療連携マニュアル（仮）」を作成中である。

委員会では、若干名の委員の公募を行うこととなったので、認知症診療に関心のある会員の参加をお待ちしております。

横浜市立大学保健管理センター 小田原 俊成

▶ 2016.4月

近年、高齢化率の上昇に伴う認知症高齢者の診療機会の増加を反映し、診療報酬にも認知症診療に関する項目が増えてきました。本委員会では、主として総

合病院における認知症診療に関連した臨床的諸問題を取り上げ、調査・研修等の活動を通じ、会員の皆様に役立つ情報発信を目指しています。これまでに、大学病院・総合病院の認知症診療実態調査や一般病床入院中高齢者における認知症の有病率調査など、当学会ならではのユニークな調査研究を学会誌で発表し、また総会時の認知症や高齢者に関するシンポジウム・研修会の企画を行ってきました。当委員会へのご提言・企画の持ち込みをお待ちしております。

横浜市立大学保健管理センター 小田原 俊成